

第1回 富士市教育振興基本計画策定委員会 議事録

日時

令和8年6月9日（火） 午後2時～午後4時05分

場所

市消防防災庁舎庁舎 3階 作戦指令室

出席者

[策定委員]

濱嶋 祐樹 田辺 敬子 佐野 弘美 妻木 崇雄 松本 美保
幕田 聡子 佐野 浩士 島田 桂吾 酒井 郷平 三上 聡
市川 里江子

[教育長及び教育委員]

太田 桂（教育長） 保科 悦久（教育委員）

[事務局]

教育次長、教育総務課長、学校教育課長、学校管理課長、社会教育課長兼青少年教育センター所長、
文化財課長、中央図書館長、富士市立高等学校事務長、教育研修センター所長兼特別支援教育センター所長、
青少年相談センター所長、博物館長、教育総務課教育政策担当

傍聴者数

2名（報道2）

会議の概要

委嘱状・辞令書交付

太田桂教育長より委嘱状・辞令書を交付する。

教育長あいさつ

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、第二次富士市教育振興基本計画後期実施計画の策定委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

5年前、前期計画をスタートさせた時には、GIGA スクール構想の推進や小中一貫教育、コミュニティ・スクールの全市展開など、教育の基盤整備を重点に取り組んでまいりました。委員の皆様、学校、地域のご協力により、多くの成果が得られたことに感謝申し上げます。

一方で、急速な少子化、不登校の増加、外国人児童生徒の増加、AIの普及やデジタル化

の加速、さらにはこども基本法の施行など、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、後期計画では、基本的な方向性は継承しつつも、学校再編や部活動の地域展開、こどもの権利尊重や意見表明の機会づくり、学力向上に向けた授業改善、教職員の働き方改革、図書館や文化財の充実など、重点的に強化すべき分野を明確にしていまいります。

後期5年間は、これまで整えてきた基盤を生かしながら、富士市の教育を次の段階へ進める重要な期間となります。本日は、後期計画の方向性や強化点、懸念される点などについて、忌憚のないご意見を賜りたいと思います。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

策定委員会の設置について説明

事務局より富士市教育振興基本計画策定委員会の設置について説明する。

委員自己紹介

各委員が自己紹介する。

議 事

(1) 委員長・副委員長選出

策定委員会規則第2条の規定により、委員長を互選により選出する。島田委員が推薦され、全会一致で委員長に選出される。

島田委員長	改めまして、御承諾いただきましてありがとうございます。 この10年間、外部評価委員という形で携わらせていただく中で、富士市は、教育施策をしっかりと練り上げながら進めてこられたと感じています。 また、検証についても、評価に基づきながらどれだけ進捗できるかという点を大切にされ、我々委員の発言を受けて改善する姿勢を毎年示していただきました。 一方で、この10年間、途中コロナ禍もありましたけれども、さまざまな社会変化を私自身も感じていますし、いろんな自治体を回る中で、これから大事になってくるのは、各自治体のよさを生かしたストーリーづくりだと思います。 国の方からはいろいろな施策が下りてきますが、自治体が変われば子どもも変わりますし、文化も違いますし、財産も違いますし、伝統も異なります。
-------	--

	そうした中で、変化に対応しながらも、その自治体が培ってきたよさを生かしながら、新しい時代に向けたストーリーを作っていく。そのストーリーの骨格が、この教育振興基本計画だと思っています。 ぜひ富士市民の皆さんのストーリーを拾いながら、皆さんと一緒にそれを作り上げていきたいと思っています。 その際、舞台監督というわけではありませんが、どちらかという黒子に徹しながら、皆さんが主役となる形で策定委員会を進めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。
--	--

副委員長指名

同規則第2条4項の規定により、島田委員長が酒井委員を指名する。

(2) 富士市教育振興基本計画について

教育委員会事務局が説明した後、委員の意見交換を行う。

(3) 意見交換

島田委員長	ご丁寧ないろいろご説明いただき、ありがとうございました。 ただ、これを全部その場で理解するのはなかなか難しいと思いますので、この後は皆さんそれぞれのお立場やご関心も踏まえながら、2つのグループに分かれて、ざっくばらんにお話しいただければと思います。 感じたことや疑問に思ったこと、又は何が分かりにくかったかも含めて、小グループで意見交換をしたいと思います。 会議の名簿をもとにグループをつくり、Aグループは酒井副委員長、Bグループは私の方で取りまとめをさせていただきます。
-------	--

2つのグループに分かれて意見交換

Aグループ で出された 意見	① 地域とともにある学校づくりについて ・地域や関係団体とのつながりを、施策の中で具体的に描けるとよいのではないか。 ② 持続可能な社会を担う人づくりの推進について ・早期のキャリア教育を行う必要があるのではないか。富士市の中でどのように子どもを育てるかという視点が重要ではないか。
----------------------	---

	・富士市の工業のまちとしての特性や製造業との関わりを、STEAM 教育の中でどのように生かせるか。 ・先端的なものを学ぶ機会が大切ではないか。また、富士市の文化に根付いた部分を、教育の中でどのように活用していくか。 ③ 地域スポーツ・文化芸術活動の推進について ・部活動の地域展開が進む中で、部活動にあまり参加しない、又は入らない生徒もいるのではないか。外部指導者が増加し、休日での実施が多くなることも考えられる。 ・スポーツ協会においては、指導者の確保が課題である。また、会場の広さの問題もあり、複数箇所で実施しなければならない状況がある。 ④ GIGA スクール構想の推進について ・AI の活用によって、非認知能力が育ちにくくなるのではないか。教員と子どもがどのように関わるかが重要ではないか。 ⑤ 生涯スポーツの推進について ・「スポーツのまち富士」という言葉が十分に浸透していないのではないか。 ⑥ その他 ・少子高齢化に比べて、福祉や授業に関する話題が少ないのではないか。地域の方や高齢者のことを知ることは大切だが、教育の視点からのアプローチがやや少ないのではないか。 ・中小企業の振興会議の中でも、生徒と地域の連携やつながりを考える必要があるのではないか。福祉やキャリア教育の分野で、アウトプットの機会を充実させることができればよいのではないか。 ・世代間の交流を、もう少し教育の中で充実させていく必要があるのではないか。
B グループ で出された 意見	① 市立高校の維持について検討が必要ではないか。 ② 学びの連続性を意識した教育の推進について ・こどもの権利や ICT 活用などにつながっていくとよいのではないか。 ③ 安全・安心な学校施設整備の充実について ・LED 化はどのような状況になっているのか。 ・トイレや建物の改修も必要ではないか。 ④ こどもの権利を尊重した学びと、主体的な意見表明・参画の機会づくりについて

	・認知度が低すぎるのではないかと。今年度中に 100%を目指すべきではないかと。もっと早い段階で認知度を高める必要があるのではないかと。 ・子どもだけでなく、教員も意識する必要があるのではないかと。 ⇒ 年に 1 回研修をしているが、まだまだ振り返りが必要である。 ・大人が認識していないことが課題ではないかと。幼稚園児が認知するのは難しい面もあるかもしれない。 ・子どもたちは理解しているのか。 ⇒ 保護者も知らないのではないかと。 ・周知はしているが、さらに工夫が必要ではないかと。広報ふじでも周知しているのではないかと。 ・学校教育課と連携して、授業の中で扱うことはできないかと。 ⑤ GIGA スクール構想の推進について ・5 年後に 60%という目標は低いのではないかと。 ・ICT 支援員の活用が重要ではないかと。 ・保育者が保育を客観的に観察する場面でも、ICT の活用が考えられるのではないかと。 ⑥ 自ら命と体を守るための安全教育の充実について ・100%実施するべきではないかと。 ・子どもだけでなく、大人もイベントの際に、けがが多いのが現状である。 ⑦ 生涯を通した学びの場の充実について ・オンライン配信を増やしてほしい。
--	--

全体での共有

島田委員長	皆さん、ご意見ありがとうございました。 短い時間ではありましたが、小グループになって距離が近くなると、比較的話しやすくなるものだと思えました。 これまでのオーソドックスな進め方ですと、それぞれのグループでどのような意見があったかをファシリテーターが整理し、その後に全体協議へつなげることが多いと思います。 今回は、せっかく酒井先生が ICT の専門家でいらっしゃるの、各グループのメモをもとに生成 AI も活用しながら、両方の意見がどのような傾向で出ているかを統合してもらった形で進めていただきました。そういった意味では、
-------	---

	今後も、実際に ICT を活用する場面も少し増やしていければと思います。いろいろと試みながらの進行でしたので、少し不思議に感じられた方もいらっしゃるかもしれませんが、その点をご容赦いただければと思います。 酒井先生、お願いします。
酒井副委員長	Aグループ、Bグループでディスカッションしていただいた内容について、島田委員長からのメモもいただきながら、まとめてみました。 まずは簡易版として、単純に要約した内容をご紹介します。 要約版 Aグループについては、施策表への記入は少なめでしたが、これは私の進行の都合もあり、施策票の枠に入れずに自由記述で書いていただいたことによるものです。 その中では、地域や関係団体とのつながりを施策の中で具体的に描けるとよいのではないか、早期キャリア教育の必要性、富士市の中でどのように子どもを育てるか、といった意見が出ました。 意見交換の中では、工業・製造業のまちとしての特性と STEAM 教育との関わり、先端的な学びの機会の確保、地域文化に根差した教育の活用などが挙げられました。 また、部活動の地域展開、部活離れ、外部指導者の増加、休日負担といった課題や、AI の活用による非認知能力育成への懸念、教員と子どもの関わり方といった点も指摘されました。さらに、「スポーツのまち富士」という言葉があまり知られていないという気づきも共有されました。 Bグループとしては、冒頭に市立高校の維持への関心が示されていました。特に意見が集まったのは、こどもの権利を尊重した学び、意見表明や参画の機会づくりに関する部分で、認知度が低すぎることに、子どもだけでなく教員大人、保護者の意識も課題であること、幼稚園児への浸透の難しさ、広報ふじや学校教育課との連携による事業化の可能性などが挙げられました。そのほかには、ICT 活用への期待、適正規模・適正配置について関心はあるものの発言しにくさがあるという率直な声、学校における LED 化やトイレ、建物改修の進捗に対する疑問なども挙げられていました。 全体の傾向としては、両グループに共通して、富士市らしさ、産業、スポーツ、地域文化を教育にどう接続するかという視点、ICT や AI への期待と不安、こどもの権利や参画に関する認知・浸透の課題、地域や世代間のつなが

りといった視点が見られました。

特に、富士市の特色の活用と地域連携、それから個別施策の進捗や数値目標に対する具体的な意見、この辺りが今回のディスカッションで重きが置かれた点だったと思います。

今後の提言としては、両グループに共通するこどもの権利、参画の認知、ICT 活用、地域産業との連携を横断的な柱として整理していくとよいのではないかと、という形でAIの方でもまとめてもらいました。

全体の傾向としては、このような内容になります。

箇条書き・整理版

さらに別の観点として、今度は議論の背景や目的、全体の傾向、サマリーを箇条書きで整理したものも作成しました。

全体の傾向を見ると、特定のテーマへの賛否に議論が集中するというより、それぞれのグループで関心の層が対照的だったということが分かります。

Aグループは地域、産業、福祉、世代間交流などに関心があり、Bグループは施設や運用などに関心が寄っており、マクロの視点とミクロの視点の違いがあったといえます。

共通認識としては、オンラインの活用を今後進めるべきであること、GIGAスクール構想等に関する現状の認知度や目標水準が十分ではないのではないかとという問題意識、またキャリア教育や将来を見据えた人材育成の重要性などが挙げられます。これは、キャリア教育や市立高校の維持・推進といった論点にもつながるものです。

今後に向けて・ネクストステップ

最後に、今後のアクション、ネクストステップについても意見が出ています。

事務局に対しては、指標の設定根拠を整理してもらいたいという意見がありました。

また、子どもの権利条例に関する認知度向上の方策を検討・提案すること、部活動の地域展開について、指導者の確保、施設状況、地域との連携状況を明確にしていくことなどが、今後の課題として挙げられています。

最初のまとめと後者の違いは、後者の方が分析的な視点で整理されている点です。

単に出された意見を並べるだけではなく、次のステップにつながる視点で

	まとめられていることが特徴だと思います。 少しお時間をいただきました。ありがとうございました。
島田委員長	ありがとうございました。 短時間の会議ではありましたが、それ以上の密度で議論ができたのではないかと思います。とても素晴らしかったです。 たまたまAグループとBグループで関心が異なっていたからこそ、お互いの視点を補い合いながら、富士市として大切にしてきたことが見えてきたのではないかと思います。 最初に私が申し上げた「富士市のストーリー」というところにも、かなりつながってきたのではないのでしょうか。 これからさらに、指標も含め、それぞれのお立場で関わっておられる事業について掘り下げながら、この教育振興基本計画後期計画をよりよい形でまとめていくために、ぜひ皆さんにも引き続きお力添えをいただければと思います。 ただ、そのためには皆さんのご発言がなければ、本市として求めるものは形になりません。ぜひ皆さんのストーリーを、次回以降もお聞かせいただければと思います。 それでは、時間になりましたので、今回の意見交換はこちらで終了し、事務局に進行をお返しします。

今後の日程について

事務局より、今後の日程について説明する。次回は、7月10日（金）庁舎8階政策会議室にて開催予定。

閉 会